

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	浅口市立鴨方東小学校	実践者名	東山 薫
教科等	社会科	学年	第5学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	自分の伝えたいことをスライドにまとめる。 まとめたスライドを使って、聞き手に自分の考えを伝える。		
単元・内容等	社会科の学習において年間を通して実施。		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	社会科の学習では、毎回端末を活用している。		

活用の概要 (使用アプリ名を含む)

(1) 単元の大きな問いを立てる

→ 児童が追求したくなるような問いを立てる。

(2) 分担を決め、追求したい疑問について調べ、スライドにまとめる。

- ① 教科書・資料集を中心に調べる。
- ② Web 検索、NHK for school の動画等を参考に調べる。
- ③ ロイロノートにまとめる。

→ 児童が主体的に学習を進めることができるように、右図のような「準備マニュアル」を作成した。

学習活動	内容	個・班
① 役割分担	だれがどこを説明するかを決める。(司会・計時も)	班
② 音読	文章や、グラフの説明などをすべて音読(丸読み)する。	班
③ 意味	教科書や資料集で、意味の分からない言葉を調べる。	個人
④ まとめる	教科書や、資料集の内容をノートにまとめる。	個人
⑤ + α	疑問に思ったことを、インターネットや本などで調べる。	個人
⑥ 資料作成	発表用の資料を作成する。(プレゼン・紙)	個人
⑦ 説明練習 (個人)	個人で説明の練習をする。	個人
⑧ 説明練習 (班)	班で説明の練習をする。	班
⑨ めあてと まとめの 検討	班の説明のめあてとまとめを考える。	班

(3) 調べたことを伝える。

→ 発表時も、「授業マニュアル」を作成し、児童が主体的に学習を進めることができるようにした。



(4) 教師による、補充説明と助言をする。

→ 知識の補填のための補助発問や児童のプレゼン力向上のための、評価や助言を行った。

学習活動	内容	時間
① めあて	① 学習のめあて ② コミュニケーションのめあて	3分
② 予想	めあてに対する予想を発表する。	2分
③ 音読	速い読みをする。 (大切なところに 赤線を引く。)	7分
④ 説明	説明班が、 担当するところを説明する。	12分
⑤ 発表	説明を聞いて、 分かったこと、気づいたこと、 考えたことを発表する。	4分
⑥ 質問	説明班に対して質問する。	5分
⑦ まとめ	学習のまとめをする。	2分
⑧ 振り返り	① 説明班の良かったところ ② 学級の良かったところ を発表する。	4分
⑨ 先生 タイム	先生の話やプレゼン。	6分

実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
年間を通して実践を行う事で、児童が主体的に学習に取り組めた。また、自分の考えを伝えるために、学習内容をスライドにまとめる力や、作成したスライドを使って、聞き手に自分の考えを伝える力は、大幅に上達したように感じる。	社会科の学習が「楽しい」と答える児童が増えた。また、人前で話したり、自分の考えを伝えたりすることが得意になったという児童も以前より増えた。